

SDG RACING INFORMATION

アジアロードレース選手権 第5戦 セパン・インターナショナル・サーキット

【AP250・ASB1000 レースレポート】

9月5日(土曜日) 天候：曇り時々雨 のち晴れ コースコンディション：ドライ～ハーフウエット
9月6日(日曜日) 天候：晴れ コースコンディション：ドライ

2026年度アジアロードレース選手権（ARRC）第5戦がマレーシアのセパン・インターナショナル・サーキットで開催された。

9月5日は全クラスの公式予選と決勝レース1が開催された。AP250はCarlsen Jacob Solis 選手（SDG HARC-PRO.Honda Philippines）と、SDGの社員ライダーである井吉亜衣稀選手（Team SDG with HARC-PRO.）が参戦。井吉選手は予選は今シーズン最上位となる8位。決勝レース1は18位だった。Carlsen選手はペナルティを受け予選31位、決勝レース1は23位でチェッカーを受けた。

ASB1000は今回予選1、予選2が行われた。阿部恵斗選手（SDG HARC-PRO.Honda Philippines）は予選1は5位で予選2に進出し、首位の選手にわずか0秒107差で2番手グリッドを獲得した。決勝レース1では序盤から首位の選手に追走していたが、マシンにマイナートラブルが発生。ペースを上げることができず、転倒を避けながらコースにとどまる状況となった。それでも阿部選手はマシンをコントロールしつつ14周を完走し、3位でチェッカーを受けた。

9月6日は全クラスのウォームアップ走行と決勝レース2が行われた。AP250の決勝レース2では井吉選手は20位前後の集団でレースをスタート。残り2週の時点で21位まで順位を上げると、そのままチェッカーを受けた。Carlsen選手は終盤まで24～25位付近で粘り強く走行し、ファイナルラップでは23位まで順位を上げて22位でチェッカーを受けた。ASB1000の決勝レース2で阿部選手はホールショットを奪いレースをリードし、序盤はトップグループで激しい首位争いを展開。レース中盤にマシントラブルが発生して4番手まで順位を落としたが、3番手の選手がペースを落とした隙にオーバーテイクに成功。最後まで大きくペースを落とさず走り切り、3位表彰台を獲得。現時点での阿部選手の年間ランキングは2位となった。

最終戦は12月5～6日、タイのチャーン・インターナショナル・サーキットで開催予定。

-ASB1000-



#39 SDG HARC-PRO. Honda Philippines
阿部恵斗
予選1:5位 予選2:2位
決勝レース1:3位 決勝レース2:3位

-AP250-



#25 SDG HARC-PRO. Honda Philippines
Carlsen Jacob Solis
予選:31位
決勝レース1:23位 決勝レース2:22位

#37 Team SDG with HARC-PRO.
井吉亜衣稀
予選:8位
決勝レース1:18位 決勝レース2:21位

SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider



SDG Co., Ltd.

SDG